

(十五) 蓑山

「山林集会」の山 一八八四年八月一〇日以降約一ヶ月間、秩父困民党は各地で、幹部会議や対高利貸交渉示威のため「山林集会」を行いました。

このうち、蓑山の「山林集会」は、次の三回です。

①九月五日、風布村大野福次郎らの集会。

②九月八日(旧八月二日)、高岸善吉(上吉田村・農・三五歳・上吉田村小隊長、死刑)、柳原正男(同村・農・二八歳、軽懲役六年六月)ら活動家の会議。この時柳原正男は大宮郷警察署に拘引されました。

③九月一〇日、「自由党連」の皆野集合(蓑山集会)。

これらには、ダブリがあるかも知れませんが、②は二日前の栗野山の会議に対して、東秩父(荒川東岸)の活動家を対象とした会議だったと思います。会議には「法律卒業生」が来ていたと言いますから、借金問題について教を請う大衆集会だった可能性もあります。

上吉田の神官の一〇日付日記に「蓑山に自由党六〇〇人ばかり籠る」「(木公堂日記)や「九月一〇日自由党連が皆野の町に押し寄せ、交番に一夜の宿を願いだした。また、柵屋喜兵衛方に掛

け合いに及んだ」(持田鹿之助日記)

の記事は、当時の様子を伝えてあります。

蓑山での山林集会は、現在の蓑山神社辺で行われたと推定されます。現存する表参道丁目石は一八八七年建立ですが、この場所は原・下原・親鼻・土京・三沢各方面からの道が通じていま

した。各地からの参加

者が集まりやすい場所だったというのがその理由です。

萩原勘次郎の偵察

一月三日、三沢の萩

原勘次郎は、角屋で田

代采助から金一〇円と

望遠鏡を受け取り、蓑

山に登って「我彼」の

動静を本部に通報しま

した。「我」が居るのは

親鼻・栗谷

瀬・大浜の渡

し場であり、

「彼」が来る

と予想された

のは「本道」

の本野上方面・秩父新道口の

国神方面ですから、例えば、

農山村具展示館の上の山、も

しくは浅間山か天狗山に勘次

郎は登ったのではないでしょ

皆野町の秩父事件(22)

うか。

その他、秩父事件と蓑山との関係では、本連載で曾根坂峠や尾野田峠も話題にのぼりましたし、加藤織平らが「本陣解体」後、蓑山に逃れ東京に向ったこと、新井周三郎が角屋から蓑山に隠れたことなどありましたが重複するの

おわりに

本連載は、秩父自由党・秩父事件と

皆野町との関わり、および町内の秩父

事件事跡を断片ごとにとりあげたもの

です。したがって、直接「皆野町にお

ける秩父事件の歴史」を意図したもの

ではありません。

井出孫六編著の書名に「自由自治元

年」という年号が使われたことがあり

(蓑山神社)



お知らせ・お誘い

日時 5月5日(日)

午前10時〜午後3時30分

場所 金沢萩神社境内

内容 出牛浄瑠璃人形(壺坂)

霊験記) 秩父屋台囃子 俳句の投句

茶の湯 舞踊 など

農産物・もろこしまんじゅうの販売ほ

か。お出かけください。

主催 金沢地区つつじ祭り実行委員会

ます。この年号を踏襲すれば今年は「自

由自治一三〇年」になります。来年は

「秩父事件一三〇周年」でもあります。

節目の年をどう迎えるか。改めて地

元の「秩父事件の歴史」をどう学び、

それを現在にどう活かしていくのか、

本連載がそのための一つのきっかけに

なればと思っています。

なお、連載⑩で予告した「中三沢の

新井勘五郎」・「土京の吉橋勇次郎」に

ついては都合で掲載できませんでした。

記してお詫びいたします。

(以上をもって本連載を終了致します。

ご声援頂いた読者の皆様、それに応え

て頂いた筆者の、長期間にわたるご苦

勞に御礼申し上げます。 編集部)

新米議員のひとりごと

常山 知子

3月下旬、同級生のK君から日展初入選を記念して、地元で初の作品展(油絵展)をやるといふ、案内をいただき見学に行きました。

「雪景色が好き」というだけあって雪が入った作品が多く、K君の絵を見ていると、大きな解放感を感じたところ。作品展は大盛況だったと聞きました。

K君が住んでいる地区では、年に一度区民が参加する展覧会を地区区民館で開催。区民の人が作品を発表。皆さんに見てもらっています。芸術家がたくさんいらっしやいます。

又、先日「美の山さくらまつり」では、山頂で、皆野の写真愛好家の人たちの写真が展示され、見学しました。金沢小学校閉校の様子などをうつしたものもありました。

毎年行われる「ふれあいまつり」では文化部会で、俳句、絵画、写真、手芸などみなさんの力作が展示されています。

いい作品が出来ても、発表の場がないと寂しいものです。発表する場あって、それを励み(目標)にいいものを作り上げます。

町にもっと発表する場があるといいですね。残念ながら、私はいつも見学する方にまわりそうですが……